

	<h1>RI 日本事務局 財 団 室 NEWS</h1>	<p>INDEX</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際大会 ●寄付と認証 ●ロータリー財団の補助金制度(未来の夢) ●ポリオ・プラス ●ロータリー平和フェローシップ ●ロータリー財団地域セミナーの開催 ●今後の予定 ●財団室NEWSアンケート ●ロータリー財団 地区別寄付報告 <p>2013年 7月号 発行日6/28</p>	
---	--------------------------------------	--	---

国際大会

6月23日からポルトガルのリスボンで国際大会が開幕されました。

田中作次会長、ウィルフリッド・ウィルキンソン財団管理委員長、ロン・バートン会長エレクト、李東建ロータリー財団管理委員長エレクトの講演概要は、[国際大会・ニュース](#) よりご覧になれます。

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、国際大会にて、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。詳細は、ポリオ・プラスの記事をご覧ください。



寄付と認証

【ファースト・クラス・イニシアチブ】

2013-14年度ロン・バートン RI 会長がゾーン、地区、クラブレベルの全てのリーダーがリスボン国際大会までに寄付することを呼びかけたファースト・クラス・イニシアチブでは下記の通り寄付がありました。今年度中に地区内クラブ会長エレクト全員が寄付をした地区は、世界 38 地区となり“ファースト・クラス・バッジ”が贈られます。日本では第 2760 地区のクラブ会長エレクトと第 1 ゾーンと第 2 ゾーンの 2013-14 年度財団委員長も全員寄付をし、“First Class”を達成しました。クラブ会長エレクトと財団委員長には“ファースト・クラス・バッジ”が贈られます。

● 2013-14 年度地区ガバナー:100%の寄付	US\$865,044.45	
● 2013-14 年度地区財団委員長:389 名寄付	US\$802,680.59	
● 2013-14 年度クラブ会長:10,982 名寄付	US\$3,067,731.16	
	US\$4,735,456.20	(2013年6月25日現在)

【地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター】

ポール・ハリス・ソサエティは、毎年 1,000 ドルを年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。もともと 1999 年に第 5340 地区で地区運営の認証プログラムとして始まりましたが、管理委員会で 2013 年 7 月からロータリー財団の公式認証プログラムになることを決定しました。2013-14 年度地区ガバナーは、この認証プログラム推進のため新たに地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターを任命し、会員アクセスより登録をお願いします。ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターには、6月末にリソースが送られます。詳細は 5 月 22 日に送付されたメールをご覧ください。

【領収証発送のお知らせ】

1 月から 6 月までの個人でご寄付をいただいた方の確定申告用領収書は 7 月下旬にクラブ宛にまとめて送付の予定です。届きましたら、ご確認いただき 2 月確定申告まで大切に保管下さい。

【RIレート】

6 月 \$1=¥100

7 月 \$1=¥ 99

* レートは実際に入金された時のレートが適用されますので月末時には特にご注意下さい。

* 移転のため 5 月 27 日より一部、送金明細書も更新されています。

Fax : 03-5439-0405 E-mail : kifu@rotary.org

[寄付送金明細書\(ロータリアン/ロータリー・クラブ用\)](#)

[送金明細書記入方法・寄付の種類と認証について](#)

寄付振込先：三井住友銀行 赤羽支店(226) 普通預金 3978101 名義：公益財団法人ロータリー日本財団

送金明細書送付先：kifu@rotary.org

[オンラインでのご寄付はこちらから](#)

【寄付と認証に関するリソース】

[会員アクセス\(MAP\)](#)

[月次寄付報告\(MCR\)を活用する](#)

[クラブ寄付認証概要\(CRS\)を活用する](#)

[EREY報告書を活用する](#)

[認証ポイントについて](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

問合せ先：長瀬 takahisa.nagabuchi@rotary.org

ロータリー財団の補助金制度（未来の夢）

【最新情報】

4月の管理員会で以下のことが決定されました。

・グローバル補助金奨学生が受入地区外に居住することを認める。

・ロータリーの戦略パートナー

アガカン大学との契約を更新し、今後パートナーシップを拡大。

オイコクレジットとの契約は6月に終了の予定。ただし、2013年6月までにすでに承認されたオイコクレジットとのパッケージ・グラントプロジェクトは、そのまま継続して完了までサポートを受けられます。

これによりパッケージ・グラントの戦略パートナーは、アガカン大学、マーシーシップス、ユネスコ水教育研究所の3つとなります。

・地区補助金とグローバル補助金で、既存の建造物の増築を認めないこととする。

これは、増築として承認された補助金が新築に使用されるケース（管理委員会の方針に違反）が頻発したためです。既存の建造物の改装・修理は、これからも認められます。



THE AGA KHAN UNIVERSITY



UNESCO-IHE
Institute for Water Education



【試験地区のオンラインシステム】

全世界での新補助金制度の導入に向け、新しいオンラインシステムがスタートしました。試験期間中に承認された補助金を含む、すべての補助金をこのシステムで管理できるように試験段階のデータを移行します。移行後は旧システムは利用できなくなります。

このため、7月1～19日の間、試験期間中に承認された補助金については、申請書へのアクセス、補助金の支払い、報告書の提出ができなくなります。ご不便をおかけいたします。

新しいオンラインシステムへは、www.rotary.org/ja/grants からアクセスできます。

【旅行の手配】

BCDトラベル

補助金に渡航費など旅費が含まれている場合はBCDトラベル（RITS）を通じて旅行の手配をします。[旅行の手配](#)のページの旅行要請方法に従って、入力済みの旅行要請書式をBCDトラベルへEメールで送ります。

E-mail：rotarygrants@bcdtraveljp.com

なお、補助金の予算に旅費が含まれていない方はご自身で旅行の手配するようお願いいたします。

保険

補助金受領者の保険については、自動的にロータリーが団体加入した旅行保険が適用されます。グローバル補助金と地区補助金、国内と国外などの条件によりカバーされる内容が異なりますので[詳細](#)をご確認ください。また、保険はロータリーの補助金を利用している期間のみ適用されます。

例えば2年間の留学の1年目に補助金を利用する場合は、1年目のみがこの保険の適用となります。

【補助金の口座】

銀行口座の情報の口座名は、ローマ字でご記入ください。その際、英訳したり略語を使わないようにお願いします。口座入力の画面で、国を選ぶと入力が必要な情報が出てきます。

例：○ Kokusai Rotary Dai 2000 Chiku Zaidan Iincho……

× RI Rotary D-2000 DRFC……

【申請書の削除】

オンラインで作成した申請書が、重複等で不要になった場合は、申請者側では削除できません。お手数ですが、プロジェクト名を、「DELETE」に変更してください。システム担当者が定期的にこの名前の申請書を削除します。

【地区の参加資格認定の状況】

＜ゾーン別資格認定状況＞

6月24日現在

ゾーン	地区数	認定済	手続中	未開始	認定率	手続中の地区
日本	34	34	0	0	100%	—
世界	539	519	9	11	96%	—

＜世界の補助金申請状況＞

6月24日現在

申請状況	地区補助金	グローバル補助金	パッケージ・グラント
最初のステップ	—	2474	396
申請書作成中	296	614	85
提出済	39	51	17
承認済	52	31	—

【新制度導入に向けての主なリソース】

[ロータリーの補助金のページ](#)
[GLOBAL OUTLOOK \(11月版\)](#)
[2013年からの補助金に向けての準備\(地区用\)](#)
[未来の夢試験段階における成功例](#)
[2013年からの補助金に向けての準備\(クラブ用\)](#)
[地区補助金による奨学金のベストプラクティス
奨学金制度の比較](#)
[未来の夢ニュースレター定期受信申込み](#)
[「ロータリーの新しい補助金モデル」\(パワーポイント\)](#)
[モニタリングと評価のツールキット](#)
[地区の覚書\(MOU\)](#)
[＜ビデオ\(日本語版\)＞](#)
[クラブの覚書\(MOU\)](#)
[持続可能とは？](#)
[職業研修チーム\(VTT\)](#)
[授与と受諾の条件\(2013年7月～\)](#)
[未来の夢:進化する財団](#)
[重点分野の目的と目標](#)
[地区ロータリー財団セミナーの手引き](#)
[補助金管理の手引き](#)
[地区ロータリー財団委員会要覧](#)
[補助金管理セミナーの指導者用手引き](#)

問い合わせ先: ゾーン1 伊関 yoshinori.iseki@rotary.org

ゾーン2 山本 ritsuko.yamamoto@rotary.org

ゾーン3 清水 yuki.shimizu@rotary.org



補助金レポート

グローバル補助金に対するの所感 —その1—

「R財団目標—公共イメージアップ」・「申請前準備」

2013～14年度第2590地区
R財団補助金副委員長 吉田 裕一郎

1、グローバル補助金プロジェクトを申請する前に、しっかり心に留めておかなければならない事があります。それは職業奉仕の思想です。「自らが利益をあげることに集中せず、自分の職業を通じて地域社会の人に奉仕するという態度で、すなわち医者、僧侶、弁護士、教職者などの専門職務の人と同じ考え方で企業運営をすれば、その見返りとして最高の利益が共有できる」と言う考えです。そして、その成果を持続する事により「ロータリークラブの公共イメージがアップする」という事です。

ロータリークラブは1905年に4名で誕生し、1927年に4大奉仕（現5大奉仕）が確立されました。当時の事を想像すると、1つの奉仕プロジェクトに対し、少ない会員組織の中で、全員で何をすれば「みんなに喜ばれるか、みんなのためになるか」を考えていた事でしょう。

例えの1つとして、伝染病予防奉仕プロジェクトがあったとします。医者は患者1人を診察するのは得意です。しかし、集団を対象にする診察場所確保、インフラ整備、看護師確保、教育広報などが必要だと考えられます。医者を中心にその他の必要な事柄について成果を上げてプロジェクトを持続させていくには、その他のロータリアンによる多面的な参加協力が不可欠です。

例えの2つ目として、以前「井戸を掘って水を与える」プロジェクトが多くありました。現在はどうでしょう？6～7割はインフラが壊れて機能していないのが現状だと聞いています。プロジェクトとしては、短期的にはとても良いプロジェクトです。しかし、テレビ・パソコン・車など、買った次の日に壊れる事もあります。成果をあげそれを持続させる為には、井戸を掘るだけでなく、ポンプ設置・インフラ設置（電気確保・配管工事）・取扱い教育・修理教育・部品交換費用捻出などメンテナンス技術・資金捻出が必要となります。プロジェクトを持続させ成果をあげる為には、多面的指導ができる多くのロータリアン参加協力が不可欠です。

2つのような事例からして、一時的な成果でなく、それを持続させていく事が結果として「ロータリークラブ公共イメージがアップする」事になると思います。未来の夢計画の考えは、まさしく奉仕活動の原点に戻る事だとも言えると思います。

2、申請前の準備として奉仕プロジェクト選考と同時進行しなければならないくらい大切な事はクラブ奉仕の気持ちです。グローバル補助金では援助国・実施国と最低2国間の共同プロジェクトとなります。プロジェクトに関わる両クラブの会員は、同じクラブの一員だと考え、意思疎通が出来ているかどうかプロジェクト成功の大きなポイントです。「未来の夢」移行初年度ですので、相手がグローバル補助金の事をまったく知らない地区・クラブだと想定して「持続可能性・成果検証」についてよく打ち合わせが必要です。相手クラブ選考には姉妹クラブ・友好クラブを選ぶ事がお勧めです。また、当地区では今回、意思疎通を図る為、元ロータリー平和フェロー学友に大活躍して頂きました。今後、学友はグローバル補助金プロジェクトではとても重要な存在になると考えています。以上までが、申請前準備です。

上記で理解できると思いますが、プロジェクトに5大奉仕があるか？多くのロータリアンが関わるか？そして6つの重点分野に合致しているか？持続可能性が備わっているか？を確認しながら組み立てれば良いと思います。

次号に続く

ポリオ・プラス

【ゲイツ財団との新たなパートナーシップ】

[リスボンの国際大会](#)でロータリーとビル・アンド・ゲイツ財団のポリオ撲滅を支援するためのパートナーシップの拡大が発表されました。ゲイツ財団は今後5年間、2018年までロータリーのポリオ撲滅のための寄付(年間3,500万ドルまで)に対して2倍の額を上乗せします。これにより5年間で最大5億ドルの資金確保が可能になります。世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)は2018年までにポリオを根絶し、それを証明することを目指していますが、そのための資金が15億ドル不足しています。「あと少し」のところまで来たポリオ撲滅の実現のため引き続き皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。



【ポリオ症例数】

2013年6月19日現在のポリオ症例数です。



	2013年1月1日～6月19日	2012年
アフガニスタン	2	37
パキスタン	16	58
ナイジェリア	26	122
ポリオ常在国以外	25	6
世界合計	69	223

2013年6月19日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国で、最新の症例数は「[世界ポリオ撲滅推進計画](#)」のウェブサイトから確認できます。

ソマリアとケニアで野生種のポリオの発生が確認されたため、両国と隣国では感染の拡大を防ぐため大規模な予防活動がおこなわれるなどの緊急の措置が取られています。

【アフリカ開発会議 ポリオブースイベント】



5月31日(金)から6月3日(月)まで横浜パシフィコで開催された[アフリカ開発会議\(TICAD V\)](#)付随行事のブースイベントに、日本グローバルヘルス協会、WHO、UNICEF やポリオ議連などとともにロータリーも参加し、ポリオ撲滅をアピールしました。予想を上回る来訪者がブースを訪れて下さり、アフリカにおけるポリオ撲滅への関心の高さが感じられました。

【DDFの寄贈】

2013-14年度に地区のDDFの20%以上をポリオに寄贈すると感謝状が贈られます。またポリオ撲滅の年まで毎年継続して寄贈し続けるとその貢献を称えてプラークが本部に飾られます。2012-13年度には、日本の各地区から次の通りポリオへの寄贈がありました。ご協力ありがとうございました。

<2012-13年度地区別 ポリオへのDDF寄贈額>

2013年6月27日現在

地区	寄贈額	地区	寄贈額	地区	寄贈額
2500	10,000.00	2590	100,000.00	2710	60,000.00
2510	20,000.00	2600	49,500.00	2740	10,000.00
2520	5,000.00	2610	16,223.98	2750	10,000.00
2530	24,391.80	2620	220,000.00	2760	20,000.00
2550	20,000.00	2650	200,000.00	2780	66,000.00
2560	30,000.00	2660	40,000.00	2800	30,000.00
2570	100,000.00	2680	15,000.00	2830	5,000.00
2580	85,000.00	2690	50,000.00	合計	294,391.80

問合せ先: 長瀬 takahisa.nagabuchi@rotary.org



前へ！－ 平和へのあきらめない奉仕－

ロータリー平和センター ホストエリア・コーディネーター 久邇 邦昭

去る6月8日、ロータリー平和センターのひとつである国際基督教大学(ICU)において、年次セミナーが開催され、全国から総勢138名の方々が参席しました。

2002年に創設されたロータリー平和フェロースhip・プログラムは、紛争の解決に必要な学問的、実践的な研修を提供する奨学金プログラムで、毎年110名のフェローが、世界的な審査を経て、個人的、学問的、職業的な業績に基づき選抜されています。フェローは、オーストラリア、英国、日本、スウェーデン、米国、タイの名門8大学に設置された7つのロータリー平和センターに留学し、平和と紛争解決分野の修士号、または専門能力開修了証(3カ月コース)を取得します。フェローはコースの終盤に各センターで開かれる年次セミナーにおいて、その研究成果を発表します。



今回卒業した10期生は、2年前の東日本大震災や原発でまだ不安の残る時期に世界7カ国から来日した9名です。発表内容は、「感染症の安全保障化」「難民の子供」「ニジュールにおける女性の権威向上」など多岐にわたり、フォト・ジャーナリストのアリソン・クウェッセルさんは、福島県新地町の住民に密着し、震災後の報道の影響や地域の在り方等深く掘り下げ、「忘れられた町」としてドキュメンタリーに取り組んだ成果の発表をしました。

日本は、2002年のプログラム開始以来、DDFの寄贈や冠名基金の設立など資金面で大きく貢献してきました。ロータリー財団ではこのプログラムを基金のみで運営することを目標として、2015年までにDDFの寄贈と冠名基金による9,500万ドルのロータリー平和センター基金を目標としていましたが、経費等を見直した結果、目標額を1億2,500万ドルに引き上げました。2012-13年度田中RI会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」やロータリーの重点分野にも含まれるように、平和が世界でもロータリーにおいても取り組むべきポリオに次ぐ重要な課題であることは間違いありません。

日本のICUでは、海外からのフェローが例年10名卒業しています。世界のセンターでは10期までの卒業生数は約500名(専門開修了証プログラムは除く)に達しましたが、なんと、日本から推薦されて卒業したフェローの数はそのうちの22名に過ぎません。DDFの寄贈では600万ドル以上と貢献してきた日本ですが、プログラムの一番の目的、平和に貢献するフェローの発掘、将来への人材育成に関しては日本全体で底上げを図る必要を感じます。

以前、上野 孝 元ロータリー平和センター委員がエバンストンでの選考会から戻られた折、「世界から300人以上の応募者があったが、日本からはたった3人と大変残念だった」と話されたことがあります。寄贈や寄付もとても大切ですが、平和を求め探求したい人々に声をかけ、平和を担う人材を探し出すことも社会のリーダーであるロータリアンにできる大きな支援ではないでしょうか。どうか各地区から次世代を担う平和戦士を送り出せるように、財団委員会のみならず広報委員会や会員一人一人のご尽力をお願いします。DDFの寄贈など資金提供をしていなくても、1地区から何人でも推薦できます。

ポール・ハリスは生前、「戦争への道はアスファルトで舗装された走りやすい道だが、平和への道はいばらの生い茂る狭い小道のようである」と平和の必要性和困難さを語っていました。平和を願わないロータリアンは一人としていません。私達ロータリアンが今できることは平和の種子に水を注ぎ、飛び立たせ、多種多様な国々、国際機関、NGO等に平和の花を咲かせていけるように、粘り強く協力、行動していくことではないでしょうか。

【申請状況】

2014年の申請は、この7月1日で締切となりますが、6月28日現在、日本からは4名の推薦をいただいております。

【DDFの寄贈】

2002年のプログラム開始以来各地区より寄贈いただいたDDFは以下の通りです。

第2650地区は2006-07年度に、第2770地区は今年度、それぞれ50万ドルのDDFを寄贈し、地区ロータリー平和センター基金も設立しています。

地区	DDF 寄贈額	地区	DDF 寄贈額	地区	DDF 寄贈額
2500	110,000	2620	67,789	2740	50,000
2510	60,000	2630	150,000	2750	520,000
2520	51,000	2640	200,000	2760	225,000
2530	150,000	2650	325,000	2770	275,000
2540	25,000	2660	250,000	2780	275,000
2550	275,000	2670	50,000	2790	225,400
2560	60,000	2680	90,000	2800	75,000
2570	100,000	2690	550,000	2820	100,000
2580	350,000	2700	50,000	2830	25,000
2590	475,000	2710	300,000	2840	25,000
2600	175,000	2720	50,000		
2610	75,000	2730	150,000	合計	\$5,934,189

ロータリー財団地域セミナー(Zone1. 2. 3)の開催

財団地域セミナーは、現在までに約300名の参加を予定しています。

ホテルへの交通アクセスについては、右記のURLでご確認下さい。 <http://www.princehotels.co.jp/takanawa/access/>

日 時：2013年7月2日(火) 9:00~16:30

会 場：グランドプリンスホテル高輪(東京) 品川駅徒歩5分 高輪台駅徒歩3分

問合せ先：RRFC 松本茂太郎 s-matsumoto@fukuyama-gas.co.jp

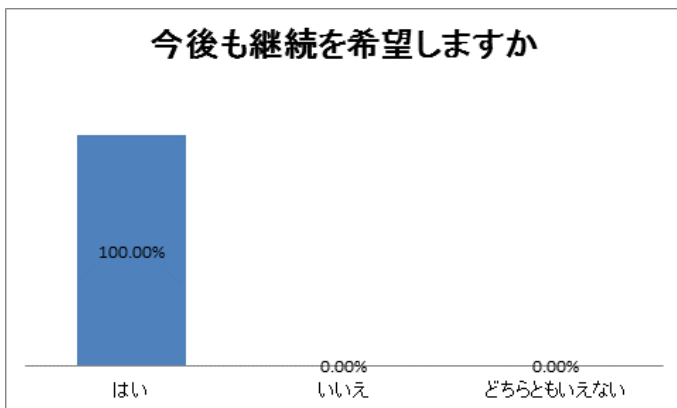
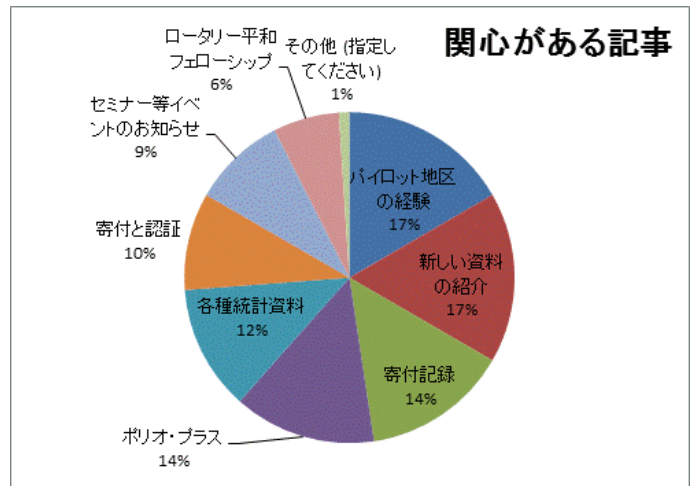
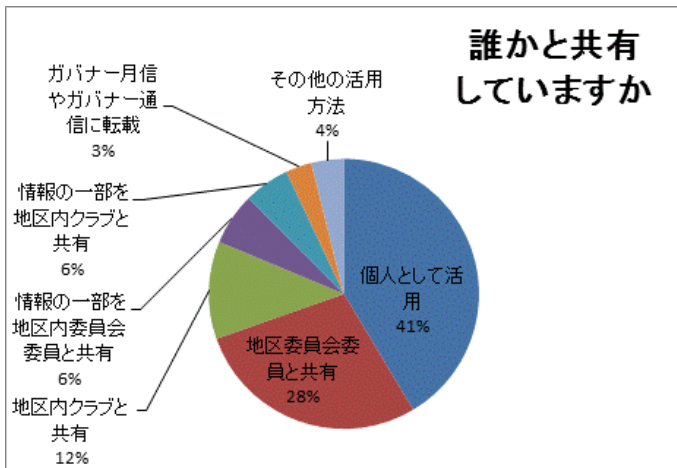
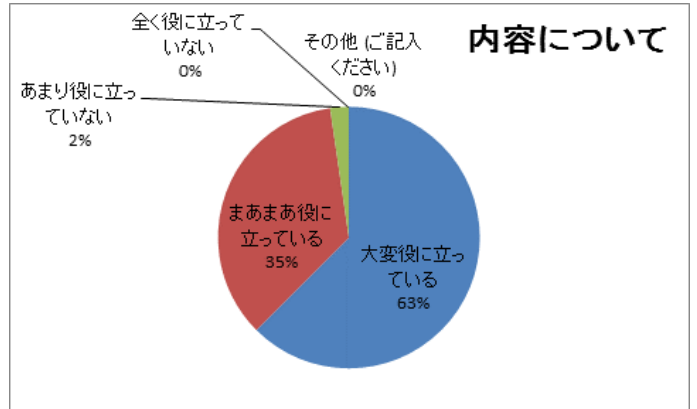
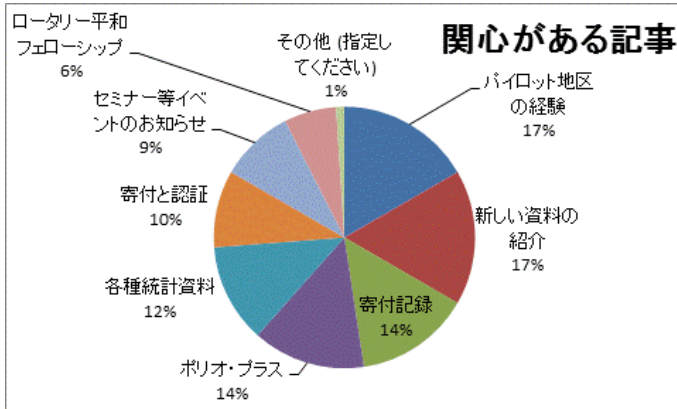
今後の予定

7月	ロータリー平和フェロシップ申請締切(1日) ロータリー財団地域セミナー 1-3ゾーン(2日) 全地区が新補助金制度の利用を開始	10月	
8月		11月	
9月		12月	ロータリー財団地域セミナー 1-3ゾーン(1日)

※今後のウェビナーや過去のウェビナーの録音は、[こちら](#)をご覧ください。

財団室NEWSアンケート

「財団室 NEWS」は、今後の継続等に関して検討するため、皆様にアンケートをお願いいたしました。その結果、多くの皆様より好意的な回答をいただき、100%の賛成で次年度も継続させていただくことになりました。ありがとうございました。デザインについても88%以上の方が現行のままで良いと回答をいただいております。皆様からの貴重なご意見やご感想は、今後、より良い NEWS を提供するために参考とさせていただきます。なお、今月より、月末に翌月号を発行することになりました。本号(6/28 発行)が7月号となります。



国際ロータリー日本事務局 財団室
 〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階
 Tel. 03-5439-5805 Fax. 03-5439-0405

ロータリー財団 2012-13年度5月末(11ヵ月) 地区別寄付報告

(単位:米ドル)

地区	会員数	地区目標	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオ・プラス	その他の基金	恒久基金	合計寄付額	年次基金 同時期 前年度比	ポリオ・プラスと その他の基金 同時期 前年度比	恒久基金 同時期 前年度比	合計 同時期前年度 比
2500	2,173	185,040	\$83.34	181,107.29	4,875.79	3,850.00	12,869.57	202,702.65	98.53%	50.39%	74.74%	89.52%
2510	2,559	258,608	\$104.45	267,275.18	5,205.01	42,101.05	6,000.00	320,581.24	95.52%	235.31%	150.00%	98.22%
2520	2,161	144,746	\$83.52	180,486.74	15,085.80	2,540.00	6,473.36	204,585.90	118.91%	15.91%	79.00%	87.64%
2530	2,225	96,540	\$105.40	234,507.23	923.85	13,150.00	24,226.54	272,807.62	163.37%	31.59%	44.24%	99.72%
2540	986	60,470	\$67.47	66,527.72	5,843.61	0.00	0.00	72,371.33	84.90%	-	-	75.41%
2550	1,667	182,930	\$129.81	216,394.52	9,389.13	8,000.00	16,580.96	250,364.61	98.41%	96.78%	97.24%	98.01%
2560	1,989	210,679	\$129.15	256,886.96	2,068.47	1,000.00	3,000.00	262,955.43	108.30%	33.39%	219.64%	105.11%
2570	1,721	204,862	\$131.34	226,031.61	34,226.14	11,900.00	49,937.07	322,094.82	97.80%	93.33%	129.08%	94.24%
2580	3,020	313,655	\$110.33	333,196.00	21,588.42	0.00	40,407.91	395,192.33	116.72%	80.69%	167.56%	106.32%
2590	2,188	272,900	\$160.10	350,303.64	65,985.70	25,368.85	130,331.84	571,990.03	98.30%	60.62%	105.38%	87.36%
2600	2,014	213,215	\$131.22	264,270.90	10,668.79	0.00	8,303.19	283,242.88	125.09%	22.58%	276.77%	99.98%
2610	2,601	264,565	\$105.54	274,515.37	8,497.34	3,000.00	3,000.00	289,012.71	112.46%	11.19%	25.86%	96.66%
2620	3,014	290,236	\$116.43	350,913.23	8,704.79	4,625.00	62,000.00	426,243.02	117.70%	75.69%	147.18%	109.51%
2630	3,111	301,607	\$102.15	317,801.81	11,134.05	10,500.00	128,558.21	467,994.07	114.42%	339.77%	364.16%	135.86%
2640	2,042	323,520	\$122.68	250,506.82	19,855.37	2,500.00	43,544.57	316,406.76	95.23%	51.03%	129.49%	85.51%
2650	4,499	468,540	\$176.61	794,552.71	21,057.40	1,000.00	373,901.04	1,190,511.15	104.64%	205.85%	231.63%	115.91%
2660	3,616	503,300	\$177.59	642,175.55	77,903.50	63,813.00	150,706.85	934,598.90	111.10%	82.33%	143.85%	104.05%
2670	2,922	304,230	\$123.19	359,963.62	34,707.72	3,000.00	4,000.00	401,671.34	120.35%	20.04%	44.21%	103.28%
2680	2,897	299,166	\$144.00	417,154.05	47,513.78	34,875.64	13,100.00	512,643.47	134.64%	10.33%	214.75%	60.85%
2690	3,057	429,500	\$151.42	462,878.07	22,305.71	0.00	30,250.00	515,433.78	97.46%	5.64%	49.59%	49.85%
2700	3,085	292,046	\$71.23	219,747.68	43,626.92	10,363.64	7,112.24	280,850.48	128.62%	26.98%	711.22%	102.88%
2710	3,197	391,810	\$117.03	374,156.98	29,771.09	6,800.00	123,970.00	534,698.07	101.68%	39.74%	42.58%	69.86%
2720	2,379	189,751	\$82.21	195,587.12	20,170.26	14,494.00	33,975.00	264,226.38	111.00%	194.06%	1586.85%	118.76%
2730	2,280	245,557	\$95.92	218,694.81	16,321.76	0.00	20,375.00	255,391.57	114.99%	79.43%	92.61%	102.40%
2740	2,160	178,992	\$76.69	165,651.87	22,072.21	0.00	9,074.03	196,798.11	129.59%	33.24%	90.74%	109.68%
2750	4,491	445,794	\$157.76	708,508.36	95,727.14	21,000.00	446,202.57	1,271,438.07	132.26%	313.85%	363.85%	160.72%
2760	4,792	511,175	\$155.01	742,823.92	54,986.55	0.00	152,848.08	950,658.55	115.11%	51.21%	277.05%	95.44%
2770	2,441	486,200	\$216.34	528,086.38	105,629.79	4,000.00	261,700.00	899,416.17	115.32%	78.61%	88.98%	100.19%
2780	2,182	371,280	\$189.43	413,329.40	19,138.32	5,152.17	97,286.22	534,906.11	110.91%	12.06%	81.64%	42.51%
2790	2,678	187,158	\$107.73	288,507.23	20,980.18	10,500.00	57,250.01	377,237.42	96.69%	86.54%	146.79%	93.39%
2800	1,604	181,550	\$100.13	160,613.42	3,871.00	5,000.00	7,350.00	176,834.42	116.46%	98.06%	76.62%	114.20%
2820	1,978	238,390	\$139.61	276,158.00	52,158.04	19,036.00	62,820.00	410,172.04	107.80%	60.45%	93.64%	84.35%
2830	1,076	112,585	\$118.88	127,918.88	3,776.53	0.00	40,000.00	171,695.41	127.80%	102.61%	2000.00%	109.23%
2840	1,909	180,820	\$124.90	238,435.22	38,569.84	4,000.00	35,763.64	316,768.70	108.69%	112.61%	626.33%	111.09%
日本	86,714	9,341,417	\$128.07	11,105,668.29	954,340.00	331,569.35	2,462,917.90	14,854,495.54	111.73%	29.98%	137.00%	92.69%
世界	1,198,108	\$59,634,876	\$79.58	\$95,344,629.17	\$23,901,266.98	\$13,235,538.50	\$19,739,696.03	\$152,221,130.68	103.96%	81.55%	145.34%	100.92%
日本の割合	7.24%	15.66%	-	11.65%	3.99%	2.51%	12.48%	9.76%				